

知っていますか? 「中核市移行」

令和3年4月に一宮市は中核市に移行します。移行まで残り2カ月となった今回、中核市になると一体どんなことが変わるのか、福祉や保健の分野へスポットを当てて取材してみました。

Q. 中核市って何?

A. 人口20万人以上で、国の指定を受けた都市です。

Q. 中核市はたくさんあるの?

A. 全国に60市、愛知県では豊橋市・岡崎市・豊田市の3市です。
なお、尾張地域では一宮市が初となります。(令和2年11月現在)



一宮市が中核市になると何が変わるの?

福祉総合相談窓口の開設

福祉についてのさまざまな相談をワンストップで行える窓口を設置します。複数の生活課題を抱えている場合も、関係機関と連携を図り、解決方法を一緒に考えます。主な相談内容は、①生計困難・生活の不安に関すること②障害者に関すること③精神障害・難病患者に関すること(県からの移譲事務)④高齢者・介護に関することなどです。(既存の制度による申請は、引き続き各担当課で受け付けます。)

身体障害者手帳の審査・認定

手帳の申請受付から審査・認定、交付までを市が行えるようになります。市で受付し、県が審査していた今までと比べて、スピーディーに交付を受けられるようになります。

福祉施設の指定・指導

障害福祉・介護サービスの事業所・施設の指定と、事業者への指導・監査業務を市が行うようになります。市民のニーズや、地域の実情に合わせた、きめ細やかなサービスの提供を目指していきます。

保健所の運営

保健所の運営主体が県から市に変わります。それに伴い、市内に3カ所ある保健センターと一体となって運営を進めていきます。これまでは

- ・保健所：食中毒対策、感染症対策など
- ・保健センター：健康相談、保健指導、健康検査などとそれぞれ業務が分かれていましたが、一体化することによって、市民の健康を総合的に支えていけるようになります。

【取材を終えて】

中核市への移行により、今まで以上に市民のニーズに寄り添った形でサービス提供が進められることが分かりました。今後さらに一宮市が良いまちになっていくことが楽しみです。